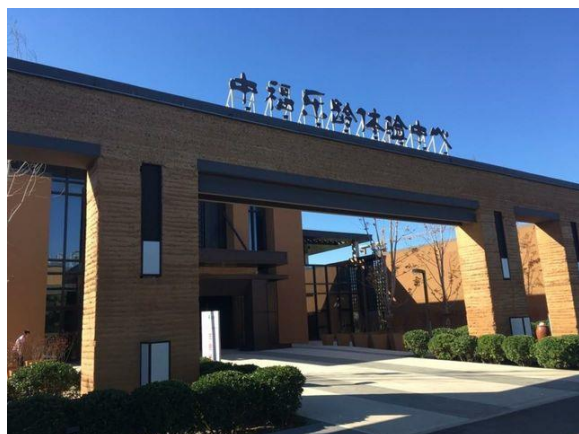


**【中国天津市】天津市初！認知症専門施設**  
**10月23日「MCS 中福中新生态城認知症センター」オープンしました**

メディカル・ケア・サービス株式会社（本社：埼玉県さいたま市 代表取締役社長：山本教雄）は、10月23日、中国天津市に認知症専門施設「MCS 中福中新生态城認知症センター」を開設致しました。

中国における高齢化を受けて、弊社は南通市、広州市において介護事業を展開しており、当施設が3棟目の開設となります。近年は、中国においても認知症ケアへの需要が高まっており、当施設では、弊社がこれまで培ってきた実績を活かし、「自立支援」を重視した個別ケアを提供してまいります。



<施設概要>

施設名	MCS 中福中新生态城認知症センター		
開設日	2018年10月23日		
所在地	天津市滨海新区中新生态城海博道中福天河智慧养老服务示范区		
ターゲット	天津市、北京市を中心にした中・高所得者層		
敷地面積	735 m <sup>2</sup>	居室面積	23.4～25.1 m <sup>2</sup>
入居費用	約18万円～	入居条件	認知症の方、 常時医療行為が必要でない方
周辺環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩いて5分圏内に海があり、のどかな環境に恵まれています。</li> <li>・来年上旬には、世界最大の海洋博物館が近隣にオープン予定です。</li> <li>・豊かな自然環境を残しながら、開発も進んでおり、ショッピングモールや住宅街の開発計画が進んでいます。</li> </ul>		

## <10月23日オープニングセレモニーを行いました>



10月23日の開設に合わせてオープニングセレモニーを開催致しました。政府関係者をはじめ、メディア関係者、入居予定のご家族、養老院、病院関係者など、約60名の方にご出席いただき、看板式や、ご入居予定の家族への記念品贈呈、社員紹介を行いました。

## <施設の特徴>

「介護士だけでなく、多職種との連携のもと身体機能の回復にもアプローチ」

- 同敷地内には、リハビリデイサービス、脳障害からの回復リハビリセンターを併設。
- 看護師は常勤で1名を配置、ドクターによる週2回の往診など健康管理体制を整えております。
- NPO団体とも提携しており、様々なボランティアの方によりご利用者の個別的な望みにお応えできるようなサポート体制も構築しております。

「ご利用者にも料理を楽しんでいただけるよう広いスペースでアイランドキッチンを用意」

- 建物構造は、居室面積を23.4~25.1㎡とし、廊下の幅は、車いすの方がゆとりをもってすれ違える広さを確保するなど、居住空間としてご利用者の生活を重視した設計としております。
- 食事は、栄養のバランスの考えられた献立を用意。調理スペースは広く確保し、さらにアイランドキッチンとすることでご利用者にも料理を楽しんでいただけるような空間にしております。
- 花壇のある中庭を設置したことで、お茶を飲んだり、体操や散歩を楽しんでいただけます。

## <ケアの特徴>

開設に向けて、入居されるご利用者のサポート体制を整えてまいりました。認知症専門施設として、特に認知症の症状に関する知識や認知症の方に対するケアの技術・コミュニケーションの取り方を中心とした研修に力を入れております。また、介護に必要なチーム作りやリスク把握トレーニングも行ってまいりました。

中国においては、認知症の方への理解が進んでおらず、認知症の方がその方らしく生活できる環境へのニーズが高まっております。そのような背景を受けて、当施設では、中国ではまだ珍しい、認知症の方の「自立支援」を第一に掲げ、一人ひとりに必要な支援のアセスメントを実施し、ケアプランに基づいたケアを提供してまいります。